

住宅用家屋証明申請書

記載例

租税特別措置法施行令

- (イ) 第41条
 - 特定認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外
 - (a) 新築されたもの
 - (b) 建築後使用されたことのないもの
 - 特定認定長期優良住宅
 - (c) 新築されたもの
 - (d) 建築後使用されたことのないもの
 - 認定低炭素住宅
 - (e) 新築されたもの
 - (f) 建築後使用されたことのないもの
- (ロ) 第42条第1項 (建築後使用されたことのあるもの)
 - (a) 第42条の2の2に規定する特定の増改築等がされた家屋で宅地建物取引業者から取得したもの
 - (b) (a) 以外

の規定に基づき、下記の家屋がこの規定に該当するものである旨の証明を申請します。

令和 ○年 ○月 ○日

福津市長 様

申請者 住所 福津市中央1丁目1番1号
 氏名 福津 太郎

申請代理人 住所 福津市中央2丁目2番2号
 氏名 福津 花子

所在地	福津市 中央1丁目1番地1
建築年月日	令和 ○年 ○月 ○日
取得年月日	令和 ○年 ○月 ○日
取得の原因 (移転登記の場合に記入)	(1) 売買 (2) 競落
申請者の居住	① 入居済 (2) 入居予定
床面積	100.00 m ²
構造	木造
区分建物の耐火性能	(1) 耐火又は準耐火 (2) 低層集合住宅
工事費用の総額 ((ロ) (a)の場合に記入)	円
売買価格 ((ロ) (a)の場合に記入)	円

住宅用家屋証明書

記載例

租税特別措置法施行令

- (イ) 第41条
特定認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外
- (a) 新築されたもの
 - (b) 建築後使用されたことのないもの
- 特定認定長期優良住宅
- (c) 新築されたもの
 - (d) 建築後使用されたことのないもの
- 認定低炭素住宅
- (e) 新築されたもの
 - (f) 建築後使用されたことのないもの
- (ロ) 第42条第1項（建築後使用されたことのあるもの）
- (a) 第42条の2の2に規定する特定の増改築等がされた家屋で宅地建物取引業者から取得したもの
 - (b) (a) 以外

の規定に基づき、下記の家屋

令和 ○年 ○月 ○日

- (ハ) 新築
(ニ) 取得

がこの規定に

該当するものである旨を証明します。

申請者の住所	福津市中央1丁目1番1号
申請者の氏名	福津 太郎
家屋の所在地	福津市 中央1丁目1番地1
取得の原因 (移転登記の場合)	(1) 売買 (2) 競落
備考	

令和 年 月 日

福津市長

(注1) { } 中は、該当するものをそれぞれ○印で囲む。

(注2) 取得の原因については、該当するものを○印で囲む。

記載要領

1. { } 中は、(イ) 又は (ロ) のうち該当するものを○印で囲んでください。
(イ) の場合は、さらに (a) から (f) のうち該当するものを○印で囲み、
(ロ) の場合は、さらに (a) 又は (b) のうち該当するものを○印で囲んでください。
2. 「建築年月日」の欄は、(イ) (b)、(d) 又は (f) を○印で囲んだ場合は記載不要です。
3. 「取得年月日」の欄は、所有権移転の日を記載してください。
なお (イ) (a)、(c) 又は (e) を○印で囲んだ場合は記載不要です。
4. 「取得の原因」の欄は、移転登記の場合に限り、(1) 又は (2) のうち該当するものを○印で囲んでください。
5. 「申請者の居住」の欄は、(1) 又は (2) のうち該当するものを○印で囲んでください。
ただし、住民票の転入手続きを済ませている場合は、「(1) 入居済」を○印で囲んでください。
「(2) 入居予定」の場合は、別途「申立書」の提出が必要となります。
6. 「区分建物の耐火性能」の欄は、区分建物について証明を申請する場合に、(1) 又は (2) のうち該当するものを○印で囲んでください。なお、建築後使用されたことのある区分建物の場合、当該家屋の登記記録に記載された構造が、石造、れんが造、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造であるときは、(1) を○印で囲んでください。
7. 「工事費用の総額」の欄は、(ロ) (a) を○印で囲んだ場合にのみ、租税特別措置法施行令第42条の2の2第2項第1号から第7号までに規定する工事の種別のいずれかに該当する工事の合計額を記載してください。
8. 「売買価格」の欄は、(ロ) (a) を○印で囲んだ場合にのみ、当該家屋の取得の対価の額を記載してください。